

こんにちは

NO. 25

日本の学童ほいくニュース

です

2007年4月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

今月号の一押し

その1

講座・子どもを理解するー教育臨床の現場から 1
**四月は春、出会いの月
期待という不安を受けとめて**

中央大学 横湯園子

全国研で記念講演をしてくださった横湯先生の講座がスタートし、とても楽しみです。そして、もう一回からぐいぐいひきつけられています!!「四月は不安と緊張にみちた月ですが、幸せな出会いは『はじめまして』『私があなたたちの先生よ』『今年もね』の言葉や眼差し、『どうぞ』『こちらよ』の身振りからでしょうか。言葉、眼差し、身振りが四月の贈り物となりますように祈るこの頃です。」とても温かな一文。私も四月から新しい子どもたちと出会いました。ステキな「四月の贈り物」がんばります!!そしてもう一つ!!「出会いは結果なのだなあ」の言葉。目の前に現われたその子の姿、それはまさに、その子の置かれてきた「結果」もうすごい!!ドキン!!と来ました。様々な過去と生活を背負って、私たちの前に現われたその子をしっかりと受けとめていられる大人でありたいと思いました。

その2

特集・ただいま!学童ほいく

二宮先生も汐見先生も学童保育のことをとても大切に考えてくださってありがとう(>_<)二宮先生は「子どもたちの放課後にとって不可欠な『時間・空間・仲間』を学童保育は保障してくれる。そしてそれは、指導員がいなければ保障できないのだ。」と言い切ってくださいました!!汐見先生は「保護者にとっても、人生で本当に大切なものは何かを考えるきっかけを得ることのできる場所」だと言ってくださいました!!応援してくれる人はたくさんいるんだよね。放課後プランに負けないぞ!!

4月号の特集

ただいま!学童ほいく

「ひろっぱ」ならなんとかなる

札幌市ひろっぱクラブ保護者 佐々木麻美子

少しずつの成長を実感して

瀬戸内市ゆめっこクラブ保護者 藤原真美

たくさんの出会いは大きな財産

那須温泉市ふたばくらぶ保護者 鈴木香

一人ひとりに安心を

野々市町たちのクラブ指導員 早川雅代

伝え合う気持ちを大切に

目黒区東山学童保育クラブ1組指導員 新井正子

学童保育で待ってるよ

草加市氷川児童クラブ指導員 渡辺紀子

学童保育への期待

淑徳大学総合福祉学部教授

日本子ども家庭総合研究所子ども家庭政策研究担当部長
柏女霊峰

「三つの間」を子どもたちに

神戸大学教授 二宮厚美

学童保育に期待すること

白梅学園大学副学長 汐見稔幸

今月の都連協人

特集・ただいま!学童はく
伝え合う気持ちを大切に

目黒区東山学童保育クラブ1組指導員 新井正子

新1年生の保護者のみなさんへ
ゆっくり芽生える子どもたち
楽しみながら見守って

東京都小学校教諭 田場工里

今月号の一押しその2

その1

実践ノート

Y君を中心とする上級生と 一年生との関わり

静岡市永田南児童クラブ 森弘弘

どこの学童保育にもいるY君みたいな子。やさしい気持ちを持っているけれど、ついつい仲間たちの前で威圧的になってしまう。そんなY君を恐れ、まわりの子どもたちも自分を抑えてY君の機嫌をそこねないようにふるまってしまう。下の子たちもとても怖がって…。どんなにまわりが自分の言うことを聞いてくれたとしてもホントはとても淋しい…。Y君、森さんはそんなY君から誘われ一緒に過ごします。さて、Y君はこれからどのように自分を安心させていくことができるのでしょうか?どの指導員もみんながぶつかるこんなケース。森さんと一緒に考えていきませんか。

その2

身近に発見花と虫

野あそびのプロ集団

るぜっとわーくす代表 中山康夫

4月号からこのコーナーが新設されたのかなあ。とてもうれしい!!子どもたちも花や虫が大好き!!身近に触れながら子どもたちとお話できたらいいな。そんなゆったりした時間が持てたらいいな!!

その3

読者のひろば

私にとっても「もう一つの家」

桑名市保護者 垣内元子

指導員さんと毎日会えて話ができることで、自分自身が受け止められている...と垣内さん。「学校とは違う顔を見せる子どもたちに、『なぜなんだらう』と考えたら、親でもない、学校でもない、もう一つの場所である学童保育は、自分を開放できる大切なところなのかもしれません。」親にとっても子にとってもホッとできるところ、安心できる場所。そういう学童保育でありたいですね。

読者のひろば

ぜひ知ってほしいのは

伊万里市指導員 石橋謙子

私もそう思ってた!!私の勤める学童保育も学校内にあります。今まではそうでもなかったのに、昨年度は入れ替わりたち変わりやたらに先生が訪れました。“話をしたいのでもう一度学校に戻してください”“宿題をやらせて終わったら持たせてください”ズカズカッと入ってきて、子どものランドセルを開けて持ち物チェックをしていく先生も…。学校内は確かに子どものことで連携できる利点はあるけれど、学童保育は放課後の居場所。学校から開放された生活の場です。私もそのことをわかってほしいな...って思っていたところでした。

次号予告5月号

特集・子育てでつながって

- ・父母会の大切さをたしかめる
- ・ウチの父母会のちょっといいところ
- ・学童保育にとっての父母会の役割

ずいそう

多和田悟

講座・子どもを理解するー教育臨床の現場から

横湯園子

ランらんこ先生のすこやかクリニック

森蘭子

身近に発見!花と虫

中山康夫

カメラでこんにちは/父母会/子育て日記/わたしは指導員/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか